

平成 30 年度第 1 四半期景況調査報告書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 30 年 4 月～平成 30 年 6 月期の景況調査を実施いたしました。ご協力していただいた会員様へ厚くお礼申し上げます。以下に調査の方法と結果を掲載いたします。

調査時期	平成 30 年 4 月～平成 30 年 6 月
調査企業	製造業 22 件 建設業 20 件 小売業 18 件 サービス業 23 件 宿泊業 10 件
調査方法	調査票への選択記入
作成日	平成 30 年 7 月
分析手法	今期の経営環境（売上、仕入、利益等）については同年四半期前期と前年同四半期を 100%として、今期の景況を「1:増加」「2:不変」「3 減少」で回答を得ている。景気の拡大を示す経済指標であるディフュージョン・インデックス（DI）は、1 を選んだ企業の構成比（%）から 3 を選んだ企業の構成比（%）を引いて算出している。DI がプラスのときは景気拡大期（好景気）、マイナスのときは景気減速期（不景気）と判断する。また雇入れの予定、設備導入の予定、経営課題についても質問し、それらを単純集計してより多面的に景況を判断する。

<製造業>サンプル回答数：22件

前年よりも売上高は増加したが、仕入価格の増加により利益が前年より減少。

図1-1 前期（1～3月）比のDI

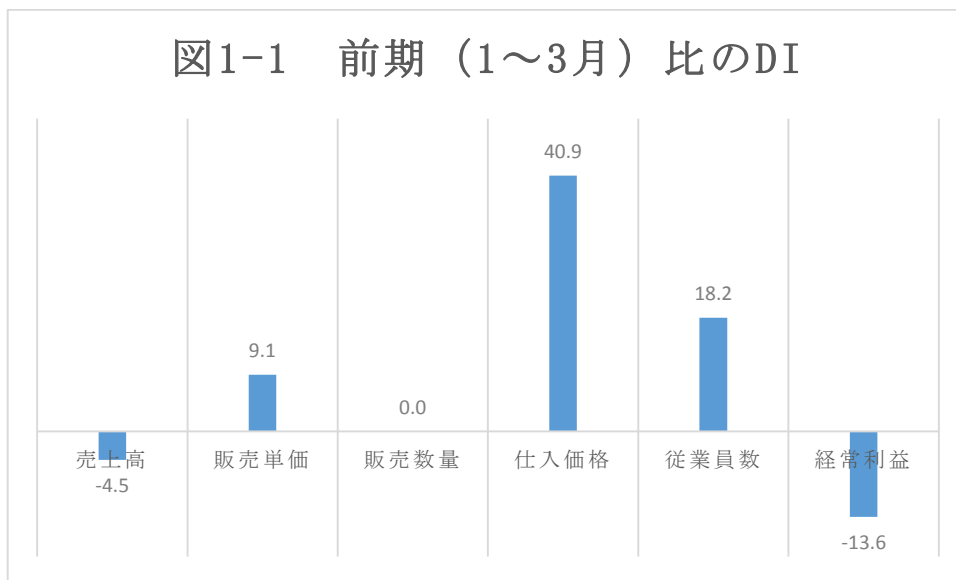


図1-2 前年同期（平成29年4～6月）比のDI

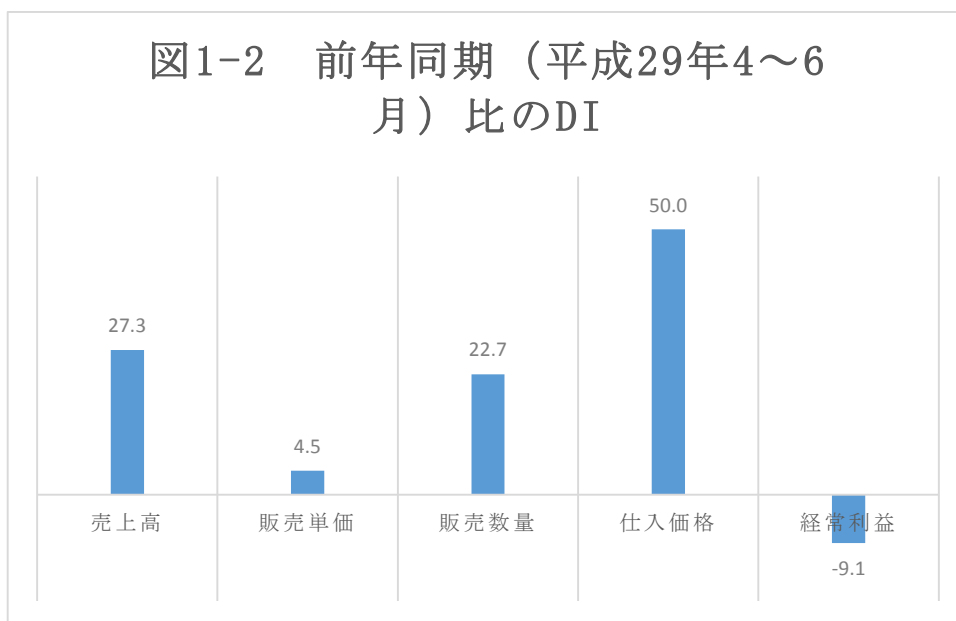


図1-3 雇入れと設備導入予定

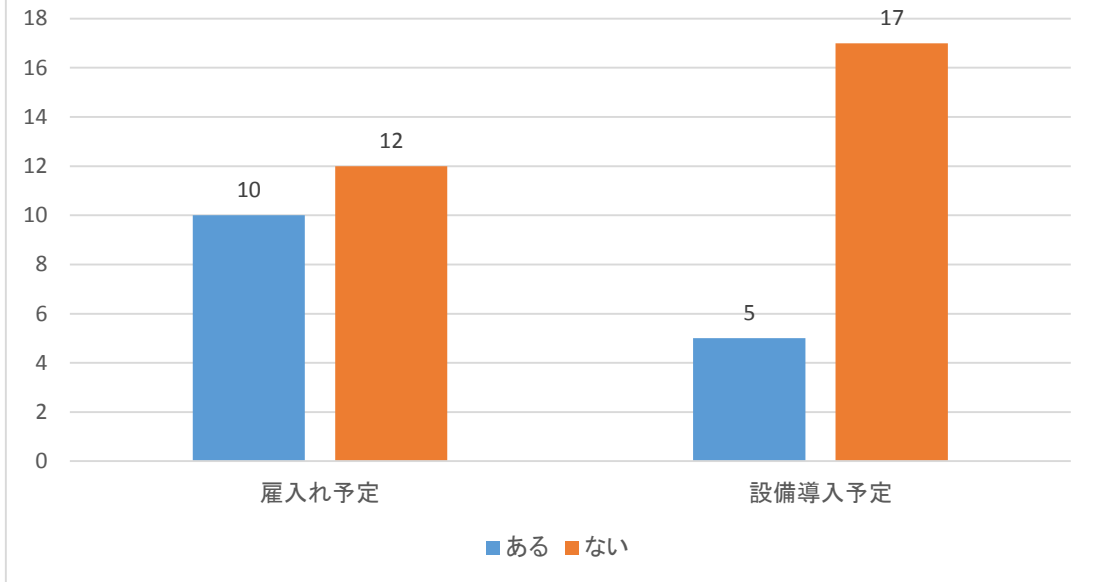
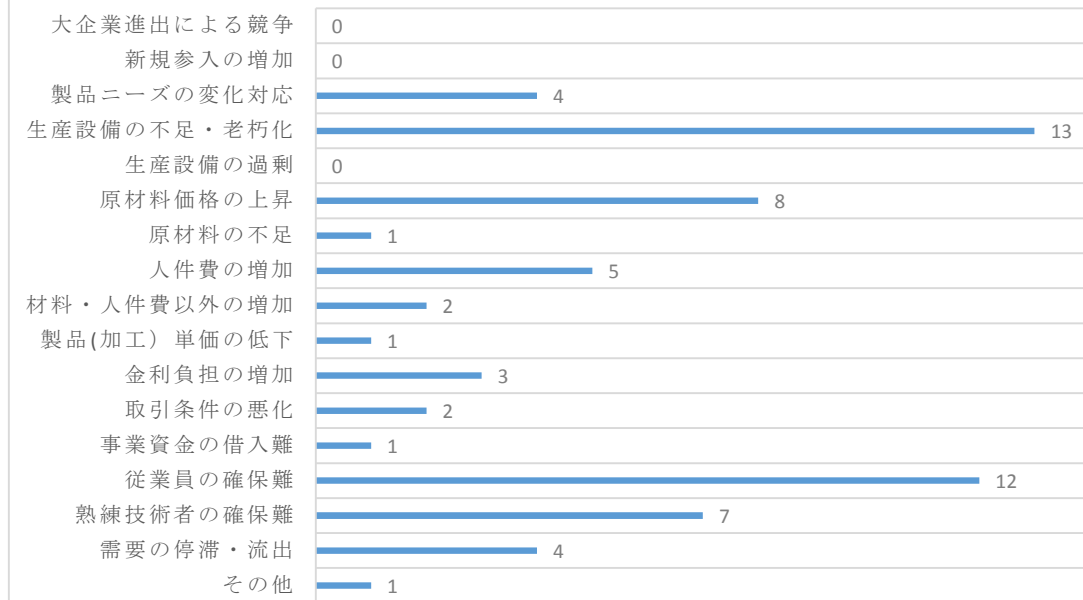


図1-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<建設業>サンプル回答数：20件

仕入価格高騰の中で雇入れや設備投資に意欲的。

図2-1 前期（1～3月）比のDI

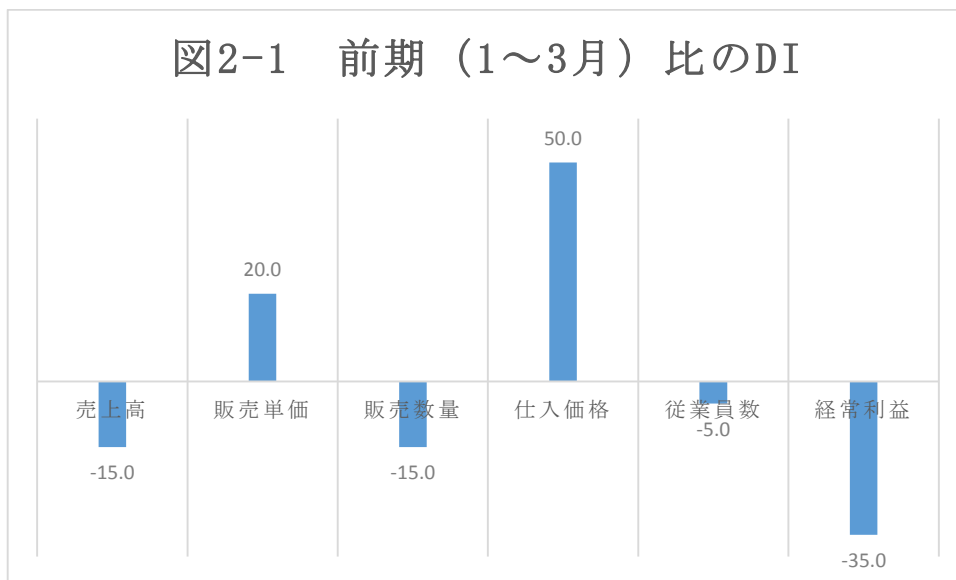


図2-2 前年同期（平成29年4～6月）比のDI

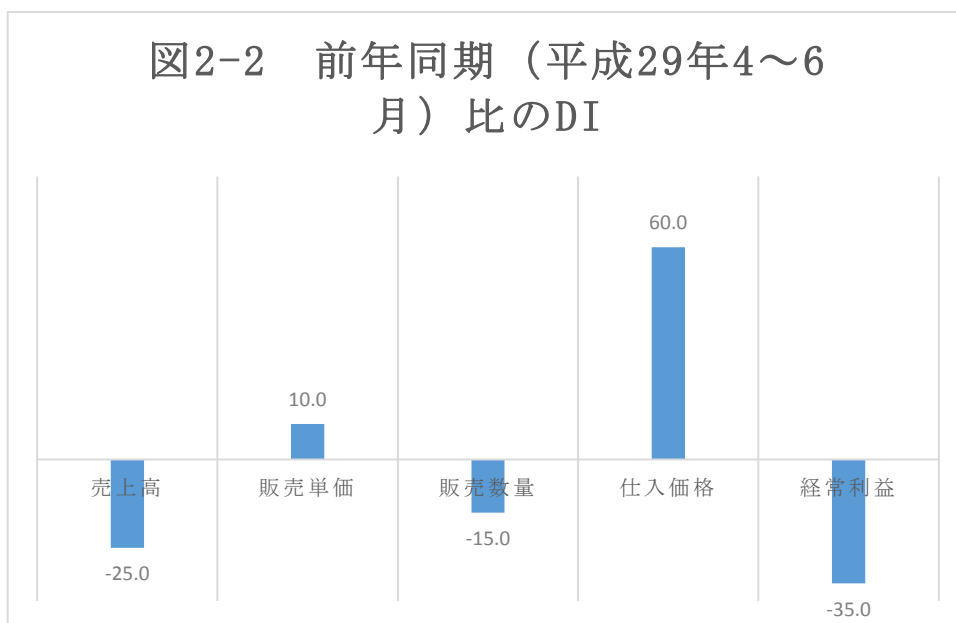


図2-3 雇入れと設備導入予定

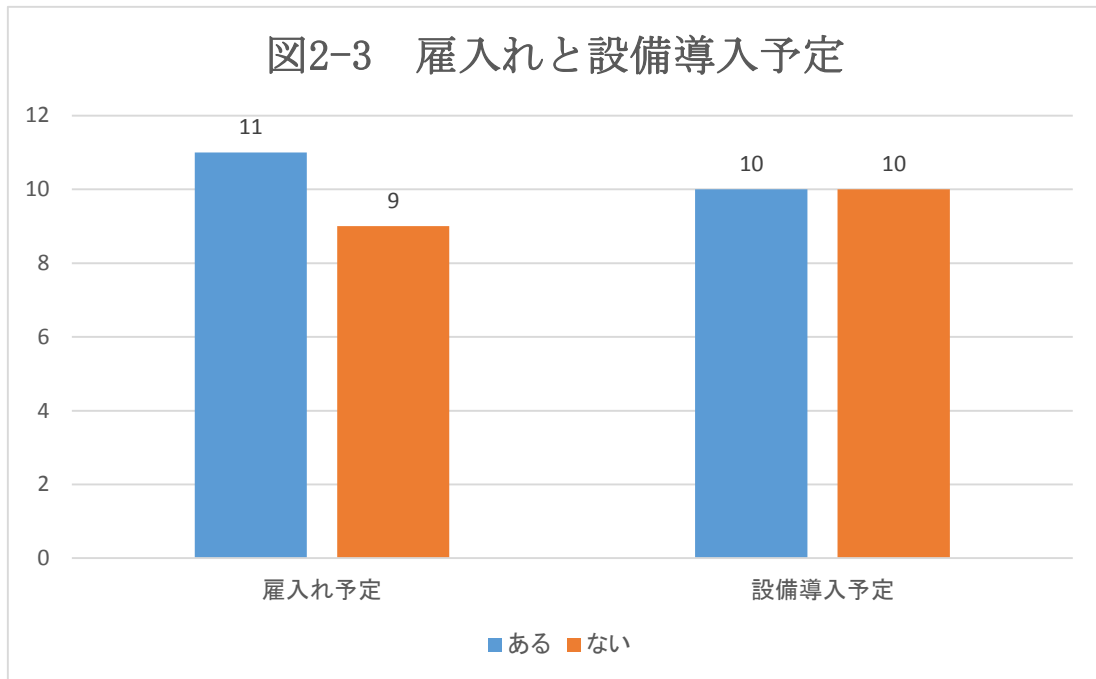
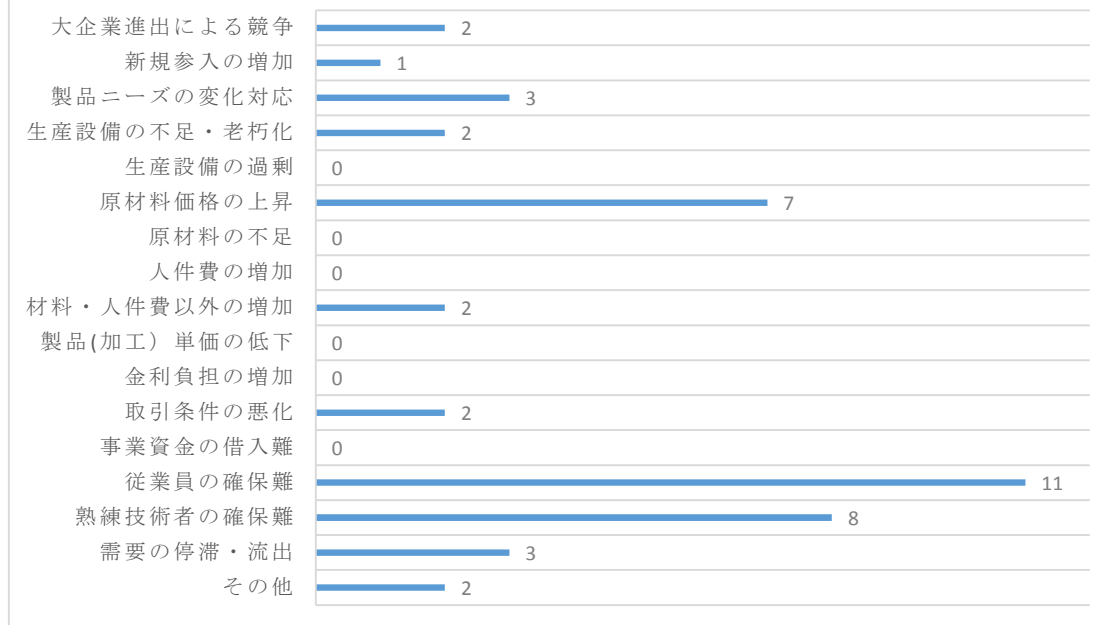


図2-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<小売業>サンプル回答数：18件

仕入価格増加の中、販売単価が増加せず利益は縮小。差別化戦略が急務。

図3-1 前期（1～3月）比のDI

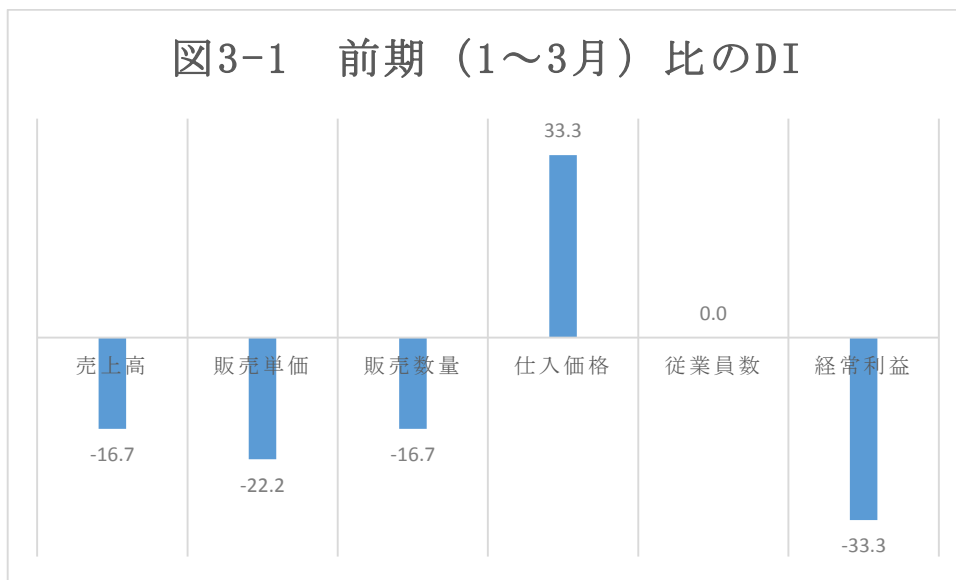


図3-2 前年同期（平成29年4～6月）比のDI

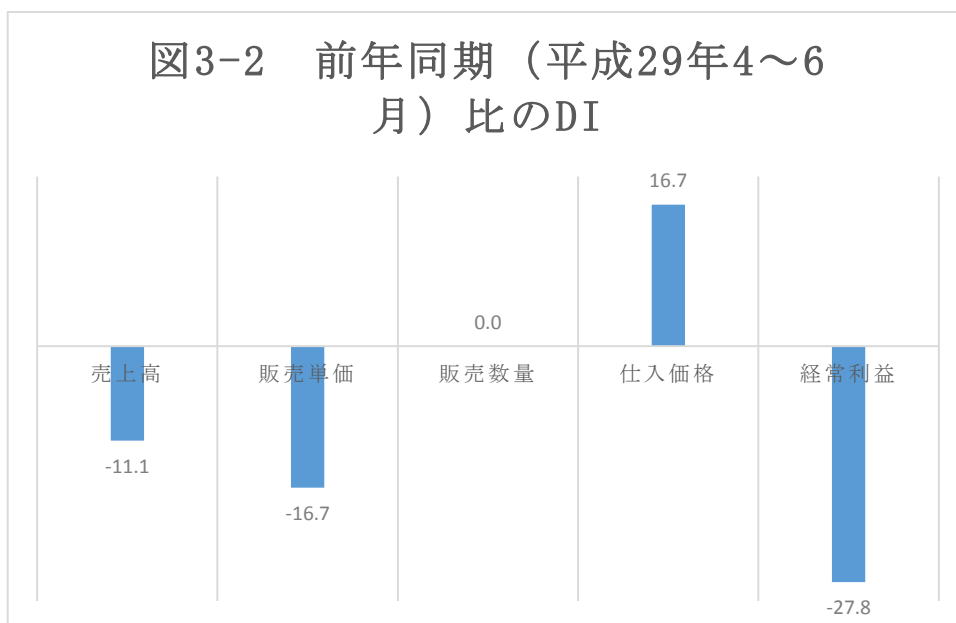


図3-3 雇入れと設備導入予定

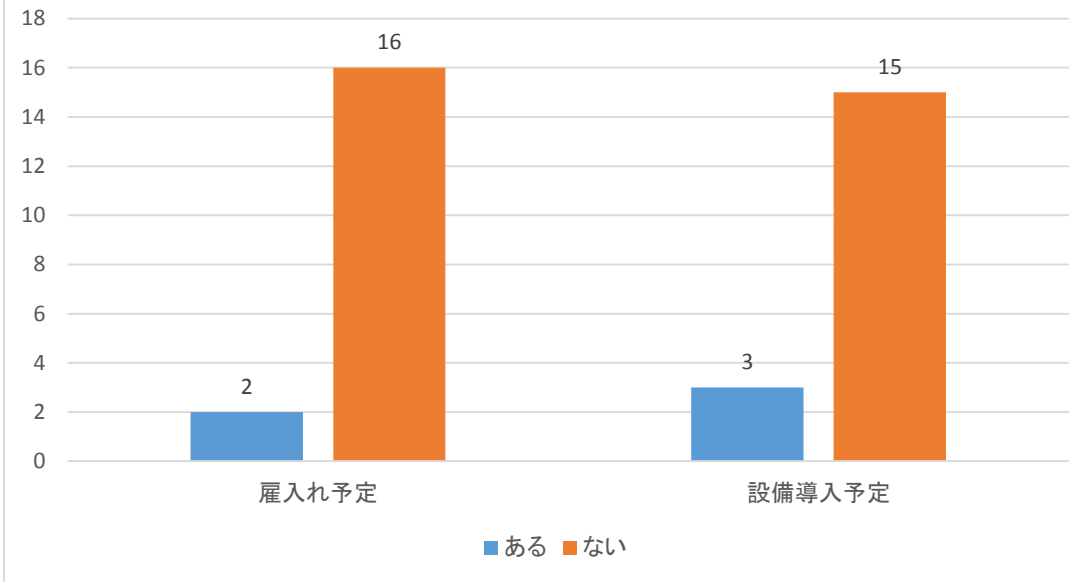
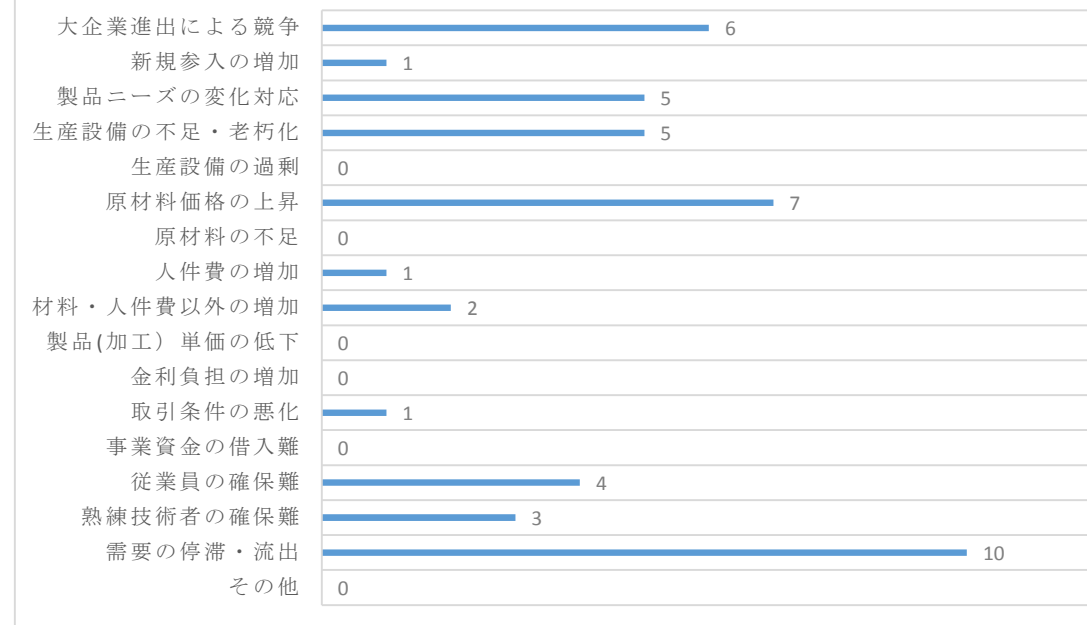


図3-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)



<サービス業>サンプル回答数：23件

前年同期に比べ売上高増加。人件費の増加に懸念。

図4-1 前期（1～3月）比のDI

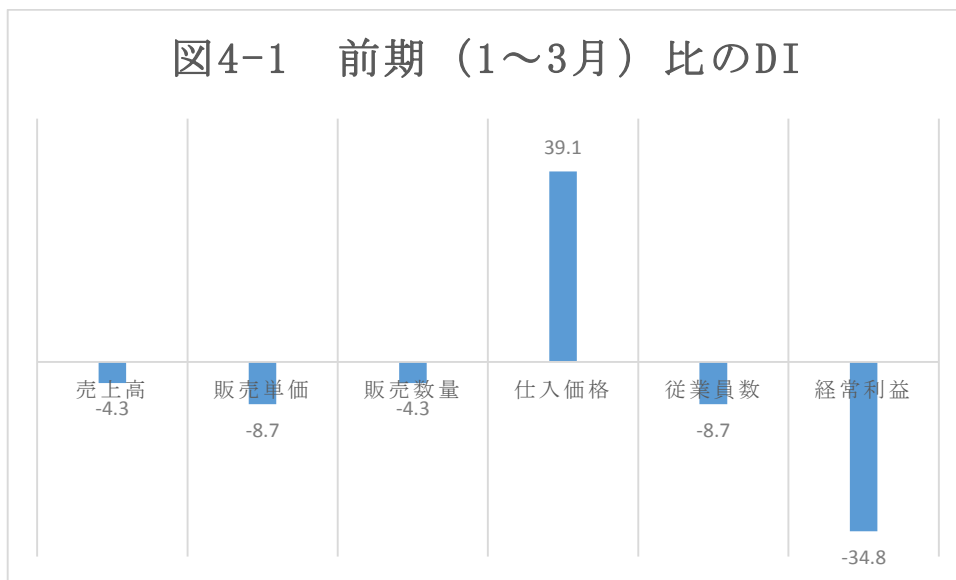
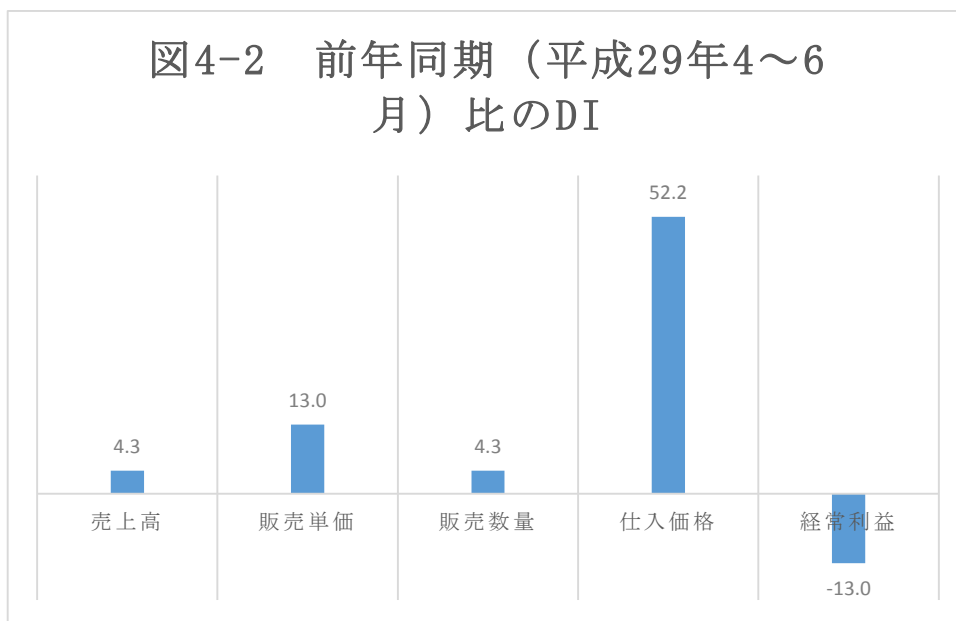
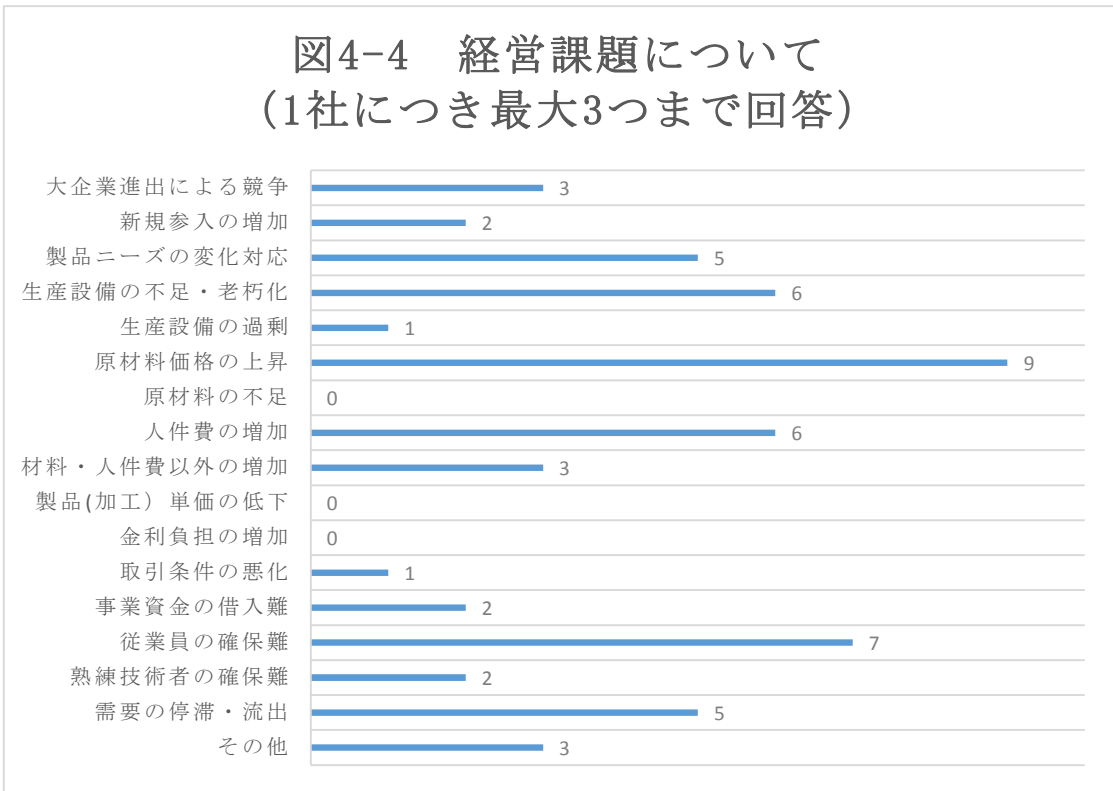
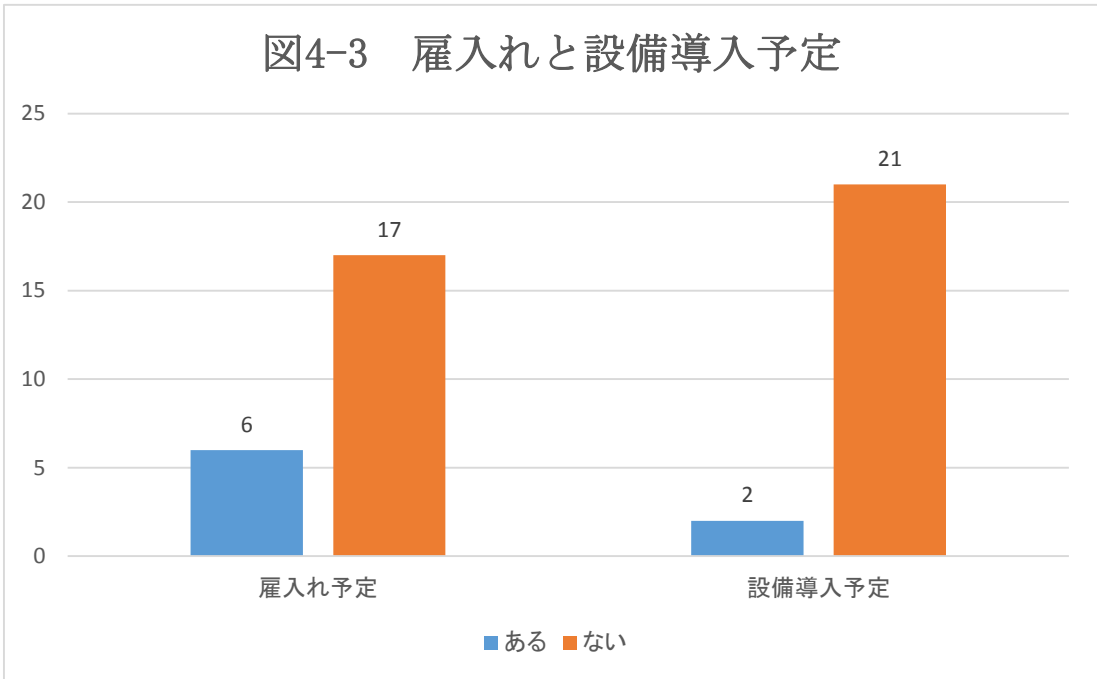


図4-2 前年同期（平成29年4～6月）比のDI





<宿泊業>サンプル回答数：10件

仕入価格増加に伴って販売単価増加したものの利益は縮小。設備投資に意欲的。

図5-1 前期（1～3月）比のDI

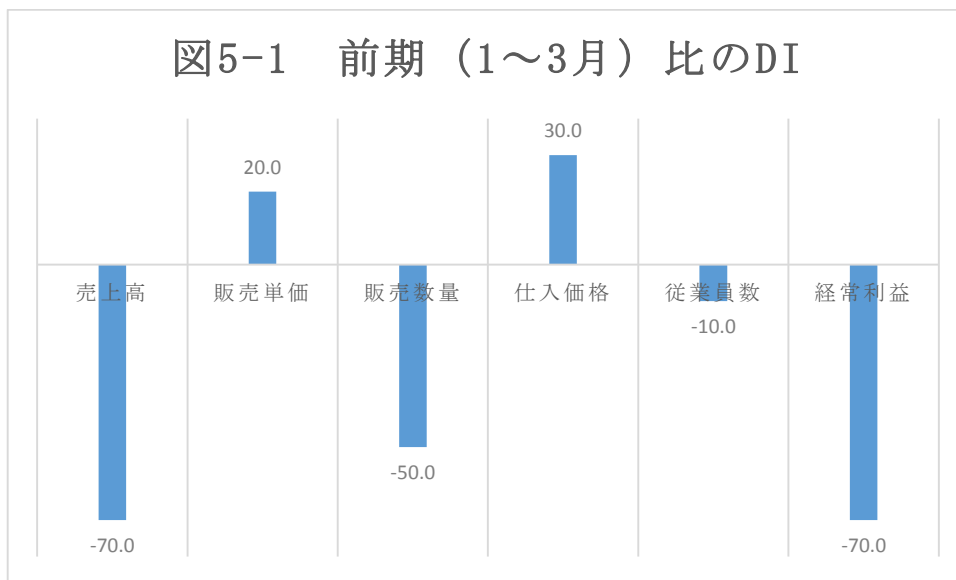


図5-2 前年同期（平成29年4～6月）比のDI

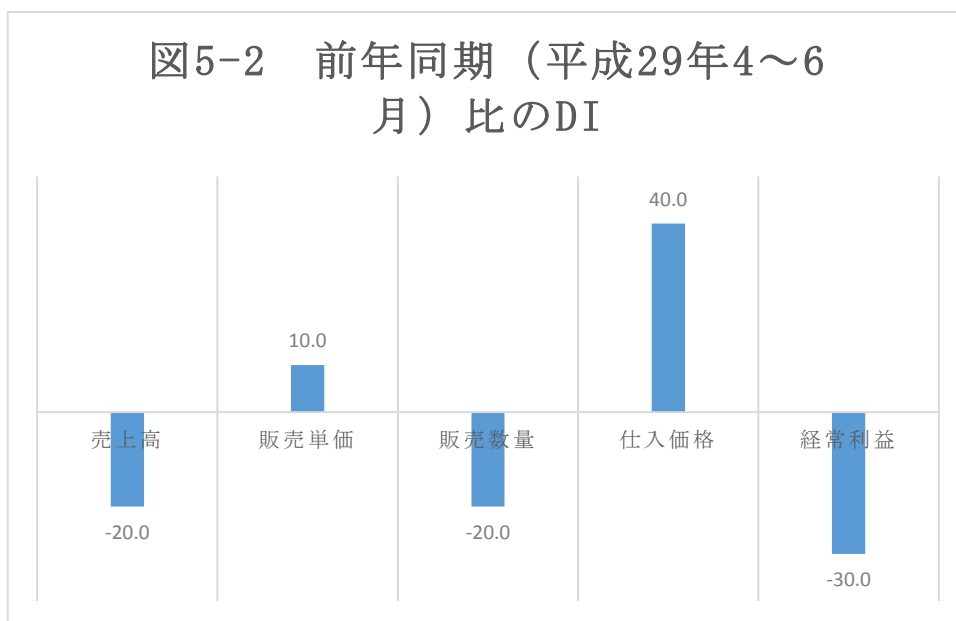


図5-3 雇入れと設備導入予定

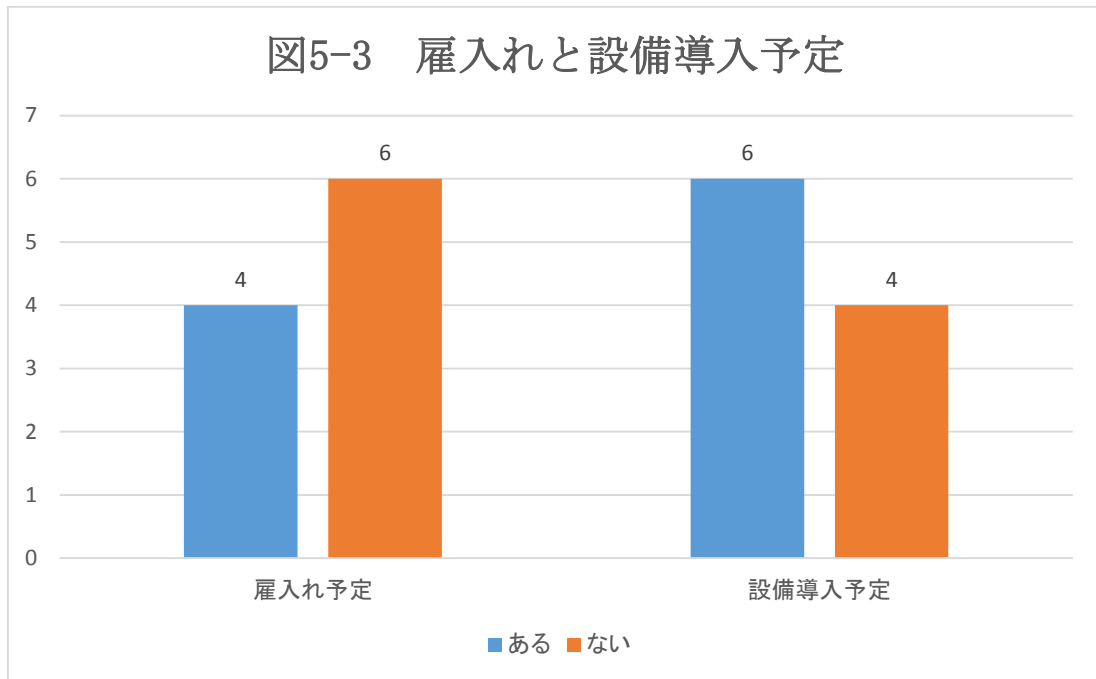


図5-4 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)

